

[様式 9 - 1]

福祉サービス等第三者評価結果

総合評価

受診施設名	京都市桂坂保育所	施設種別	保育所 (旧体系： )
評価機関名	社団法人 京都社会福祉士会		

平成 22 年 5 月 13 日

総 評	<p>京都市西京区桂坂の一戸建の家並みが立ち並ぶ住宅街の一角にあり、近隣には京都大学桂坂キャンパスがあります。園舎は2階建てで児童館が併設されています。内装は、木目調でまとめられ、整理・整頓ができています。</p> <p>新保育所保育指針に則した保育を実践し、保育所を子どもの生活の場というだけでなく、子どもの権利擁護と知力・体力を引き出す教育の場としても捉え、幼児期に身につけるべき礼儀、作法、集中力等が育まれる保育の実践に努めています。</p> <p>年齢に合わせた、体操、言葉と数あそび、造型などの知育玩具を使った遊びや本の読み聞かせにも力を入れ、音感などの情操教育も取り入れ、近隣の小学校との交流などにも取り組んでいます。</p> <p>管理者は、桂坂地区の待機児童や学童クラブ等の諸問題を地域住民、行政担当者と意見交換しています。そして地域の児童福祉に貢献できるように、そこで得たことを保育所の運営に反映させています。</p> <p>なお、第三者評価は今回が初めての受診で、全般的に厳しく自己のサービスを評価しています。サービスに対する厳しい姿勢は、今後の保育サービスの質の向上につながるものと感じました。</p>
特に良かった点(※)	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 園児の健やかな成長の促し 定員 90 名の本保育所では、日頃から家庭的な雰囲気作りを心掛けています。園児一人ひとりを個別に捉え、それぞれの生活リズム、個性に合った関わり方に配慮をすることで健やかな成長を促しています。</li> <li>● 職員間の連携 管理者、主任保育士を中心に、職員は自身の強みを活かしながら互いに連携をして保育にあたっています。園児の情報に関しては各種記録や職員会議等でしっかりと共有を図り、日々の保育に活かしています。</li> <li>● 食育への熱心な取り組み 本保育園では食事を保育の一環として捉え、食育を進めています。栄養士は園児の声や喫食状況を活かして献立を作成しています。食材にもこだわり、見た目や食感なども大切にしています。 園児は調理、盛り付けを手伝うことで、友だちと楽しく食べる喜び、食を味わうこと、体に必要な栄養や伝承的な和食文化を知ること等ができます。 また、毎日のおやつもできる限り手作りを心掛け、保護者には試食をしてもらっています。</li> </ul>

特に改善が望まれる点(※)	<ul style="list-style-type: none"><li>● 職員研修の充実 若い職員が成長し、中堅職員が経験に甘んじることなく個々の保育スキルをさらに高め、専門職集団としての組織全体の資質向上を図るために個人別・経験別の研修計画の作成が求められます。</li><li>● 業務マニュアル策定 業務マニュアルが存在しないものがあり、また作成されていても非常に簡潔なものが多数ありました。現場の職員の気づきや工夫を活かし、どのような状況が発生しても活用できるマニュアルを作成していただければと思います。</li><li>● ボランティア受け入れ ボランティアは受け入れていますが、基本方針はなく、受け入れ体制は確立しているとは言えません。地域との連携をより深めるためにもボランティアの受け入れについて検討していただくことを期待します。</li></ul>
---------------	---

※それぞれ内容を3点程度に絞って掲載しています。評価項目毎のコメントは「評価結果対比シート」の「自由記述欄」に記載しています。

保育所評価基準 対比シート

I 福祉サービスの基本方針と組織

評価分類	評価項目	評価細目	評価結果	
			自己評価	第三者評価
I-1 保育の理念・基本方針・目標	I-1-1(1) 保育の理念、基本方針・目標が確立されている。	① 保育の理念が明文化されている。	A	A
		② 保育の理念に基づく・基本方針・保育目標が明文化されている。	A	A
	I-1-1(2) 保育の理念、基本方針・目標が周知されている。	① 保育理念・保育方針・保育目標が職員に周知されている。	B	B
		② 保育理念・保育方針・保育目標が利用者等に周知されている。	B	A
I-2 計画の策定	I-2-1(1) 中・長期的なビジョンと計画が明確にされている。	① 中・長期計画が策定されている。(非該当)		
	I-2-2(2) 保育の計画が適切に策定されている。	① 保育課程が保育理念・保育方針・保育目標に基づき、さらに地域の実態や保護者の意向等を考慮して編成されている	B	A
		② 保育課程と年間指導計画、短期指導計画との整合性が図られている。	A	A
		③ 指導計画の評価を定期的に行い、その結果に基づき改定されている。	A	A
		④ 保育課程の編成や指導計画の作成が組織的に行われている。	A	A
		⑤ 保育課程・指導計画が職員や利用者等に周知されている。	B	B
I-3 管理者の責任とリーダーシップ	I-3-1(1) 管理者の責任が明確にされている。	① 管理者自らの役割と責任を職員に対して表明されている。	B	B
		② 遵守すべき法令等を正しく理解するための取り組みを行っている。	A	A
	I-3-1(2) 管理者のリーダーシップが発揮されている。	① 質の向上に意欲を持ちその取り組みに指導力を発揮している。	B	B
		② 経営や業務の効率化と改善に向けた取り組みに指導力を発揮している。	B	B

[自由記述欄]

I-1-1(1)①②保育理念は職員室内に掲げられてあり、入園案内にも掲載しています。  
 I-1-1(2)①保育理念・保育方針の周知を非常勤職員も含めて伝達する工夫が求められます。  
 I-1-1(2)②保育理念・保育方針は園児の保護者等にも周知しています。  
 I-2-2(2)①保育課程は、子どもとその背景、桂坂地区の実情をよく把握した上で、作成しています。  
 I-2-2(2)②保育課程と年間指導計画等の整合性が図られています。  
 I-2-2(2)③④年度末、及び年度途中で随時、保育計画の進捗状況を定期的に評価しています。  
 I-2-2(2)⑤保育課程・指導計画は、保護者などに十分に周知できているとは言えません。  
 I-3-1(1)①管理者は自らが果たすべき役割・責任を明確にしていますが、職員・保護者から信頼を得ているかの検証はなされていません。  
 I-3-1(1)②園長、職員が研修に参加して、各種法令の把握と遵守に努めています。  
 I-3-1(2)①管理者は職員会議等で出た意見を基に、職員と共に業務の改善に取り組んでいますが、具体的な取り組みはできていません。  
 I-3-1(2)②業務改善には取り組んでいますが、事業所としての組織・体制は十分に構築できているとは言えません。

## II 組織の運営管理

評価分類	評価項目	評価細目	評価結果	
			自己評価	第三者評価
II-1 経営状況の把握	II-1-(1) 経営環境の変化等に適切に対応している。	① 事業経営をとりまく環境が的確に把握されている。	B	A
II-2 人材の確保・養成	II-2-(1) 人事管理体制が整備されている。	① 必要な人材に関する具体的なプランが確立している。	B	B
		II-2-(2) 職員の就業状況に配慮がなされている。	① 職員の就業状況や意向を把握し必要があれば改善する仕組みが構築されている。	B
	II-2-(3) 職員の質の向上に向けた体制が確立されている。	② 職員の福利厚生や健康の維持に積極的に取り組んでいる。	B	B
		① 職員の教育・研修に関する基本姿勢が明示されている。	C	B
		② 個別の職員に対して組織としての教育・研修計画が策定され計画に基づいて具体的な取り組みが行われている。	B	B
	II-2-(4) 実習生の受け入れが適切に行われている。	③ 定期的に個別の教育・研修計画の評価・見直しを行っている。	B	B
① 実習生の受け入れに対する基本的な姿勢を明確にし体制を整備している。		A	A	
II-3 地域との交流と連携	II-3-(1) 地域との関係が適切に確保されている。	② 実習生の育成について積極的な取り組みを行っている。	A	A
		① 利用者地域とのかかわりを大切にしている。	A	A
		② 事業所が有する機能を地域に還元している。	A	A
	II-3-(2) 関係機関との連携が確保されている。	③ ボランティア受け入れに対する基本姿勢を明確にし体制を確立している。	C	C
① 必要な社会資源を明確にしている。		C	A	

### [自由記述欄]

II-1-(1)①桂坂地区の学校関係者、自治会関係者等との連携を密接に保ち、保育所の運営に役立てています。  
 II-2-(1)①保育基準により職員が配置されていますが、人材・人員体制についての具体的な計画が確認できません。  
 II-2-(2)①職員の意向、就業状況については把握していますが、分析・改善できるような体制が確認できません。  
 II-2-(2)②職員の相談・悩みごとについては、基本的には園長が対応しています。  
 II-2-(3)①『保育所入所のしおり』に「職員の質の向上に努める」ということが明示されていますが、具体化への作業が十分ではありません。  
 II-2-(3)②③計画的な研修の開催はできていません。外部の研修等に参加はしていますが、研修受講後の評価・見直しはできていません。  
 II-2-(4)①②実習生の受け入れ、育成の体制はできており、毎年実習生を受け入れています。  
 II-3-(1)①②地域の小中学校や福祉施設、自治会等と積極的に交流を行い、良好な関係を保っています。  
 II-3-(1)③ボランティアの参加はありますが、受け入れに対する基本方針は明示されていません。  
 II-3-(2)①西京区及び桂坂保育所周辺の必要な社会資源を把握して保育所運営に活かしています。

Ⅲ 適切な福祉サービスの実施

評価分類	評価項目	評価細目	評価結果	
			自己評価	第三者評価
Ⅲ-1 利用者本位の福祉サービス	Ⅲ-1-1 (1) 利用者を尊重する姿勢が明示されている。 (2) 利用者が意見等を述べやすい体制が確保されている。	① 利用者のプライバシー保護に関する規程・マニュアル等を整備している。	C	B
		① 苦情解決の仕組みが確立され十分に周知・機能している。 ② 利用者からの意見等に対して迅速に対応している。	A	A
	Ⅲ-2 サービスの質の確保	Ⅲ-2-1 (1) 質の向上に向けた取り組みが組織的に行われている。	① 定期的に第三者評価を受診し、事業内容の改善に活かしている。	C
② 定期的に自己評価を行い、その結果と課題を職員間で共有し、改善に向けた取り組みを行っている。			A	A
Ⅲ-2-2 (2) サービス実施の記録が適切に行われている。		① 入園面接・健康診断など定められた手順に従ってアセスメントを行っている	A	A
		② 利用者に関する記録の管理体制が確立している。	A	A
		③ 利用者の状況等に関する情報を職員間で共有化している。	A	A
Ⅲ-3 サービスの開始・継続	Ⅲ-3-1 (1) サービス提供の開始が適切に行われている。	① 利用希望者に対してサービス選択に必要な情報を提供している。	B	B
		② 保育の開始にあたり利用者等に説明し同意を得ている。	A	A
	Ⅲ-3-2 (2) サービスの継続性に配慮した対応が行われている。	① 転園・卒園にあたり保育の継続性に配慮した対応を行っている。	A	A

[自由記述欄]

Ⅲ-1-1(1) ①プライバシーには十分に配慮していますが、その根拠となるマニュアルが整備されていません。  
Ⅲ-1-2(2) ①②苦情解決の仕組みを明示しており、苦情内容及び解決結果等は公開しています。  
Ⅲ-2-1(1) ①今回が初めての第三者評価受診です。  
Ⅲ-2-1(1) ②保育士等の自己評価を定期的に実施し、より良い方向に導いていけるよう園長・主任保育士が指導をしています。  
Ⅲ-2-2(2) ①入園・進級にあたっては健康状態、生活状況等のアセスメントを行っています。  
Ⅲ-2-2(2) ②園児の記録は詳細に記述・分析・検討し、鍵付きのロッカーに保管しています。  
Ⅲ-2-2(2) ③園児の情報については、職員会議、随時の打ち合わせ等で職員間で共有しています。  
Ⅲ-3-1(1) ①保育所の情報については、パンフレット以外に京都市のホームページにも情報を載せていますが、「積極的な取り組み」にまでは至っていません。  
Ⅲ-3-1(1) ②入園にあたっては、関連資料をもとに保護者等にわかりやすく説明し、同意を得ています。  
Ⅲ-3-2(2) ①転園・卒園にあたっては情報の申し送りをして、継続した対応ができるように努めています。

IV-1 子どもの発達援助

評価分類	評価項目	評価細目	評価結果	
			自己評価	第三者評価
IV-1 子どもの発達援助	IV-1-(1) 健康管理・食事	① 登所時や保育中の子どもの健康管理は、マニュアルなどがあり、子ども一人ひとりの健康状態に応じて実施している	A	B
		② 健康診断の結果について、保護者や職員に伝達し、それを保育に反映させている	A	A
		③ 歯科健診の結果について、保護者や職員に伝達し、それを保育に反映させている	A	A
		④ 感染症発生時に対応できるマニュアルがあり、発生状況を保護者、全職員に通知している	A	A
		⑤ 食事を楽しむことができる工夫をしている	A	A
		⑥ 子どもの喫食状況を把握するなどして、献立の作成・調理の工夫に活かしている	A	A
		⑦ 子どもの食生活を充実させるために、家庭と連携している	A	A
		⑧ アレルギー疾患をもつ子どもに対し、専門医からの指示を得て、適切な対応を行なっている	A	A
	IV-1-(2) 保育環境	① 子どもが心地よく過ごすことのできる環境を整備している	B	A
		② 生活の場に相応しい環境とする取り組みを行なっている	A	A
	IV-1-(3) 保育内容	① 子ども一人ひとりへの理解を深め、受容しようと努めている	A	A
		② 基本的な生活習慣や生理現象に関しては、一人ひとりの子どもの状況に応じて対応している	A	A
		③ 子どもが自発的に活動できる環境が整備されている	A	A
		④ 身近な自然や社会とかがわかるような取り組みがなされている	A	A
		⑤ ささまざまな表現活動が自由に体験できるように配慮されている	A	A
		⑥ 遊びや生活を通して人間関係が育つよう配慮している	A	A
		⑦ 子どもの人権に十分配慮するとともに、文化の違いを認め、互いに尊重する心を育てよう配慮している	A	B
		⑧ 性差への先入観による固定的な観念や役割分業意識を植え付けないよう配慮している	A	A
		⑨ 乳児保育のための環境が整備され、保育の内容や方法に配慮がみられる	A	A
		⑩ 長時間にわたる保育のための環境が整備され、保育の内容や方法に配慮がみられる	B	B
		⑪ 障害児保育のための環境が整備され、保育の内容や方法に配慮が見られる	A	A

【自由記述欄】

IV-1-(1) ①丁寧な観察を行い、異常の発見、迅速な対応に努めていますが、健康管理マニュアルは作成していません。  
 IV-1-(1) ②健康診断の結果は、迅速に保護者等に伝達するとともに、日常の保育に活かしています。  
 IV-1-(1) ③園児の口腔ケアも日常行っています。歯科検診の結果も保護者、職員一同に周知徹底しています。  
 IV-1-(1) ④感染症マニュアルが備えられています。園内の複数箇所にオゾン発生装置を設置するなど、感染予防に努めています。  
 IV-1-(1) ⑤食育には力を入れています。栄養士、職員一同で食事を楽しむことができる工夫、企画を練っています。  
 IV-1-(1) ⑥喫食状況を把握して献立の編成に活かしています。おやつも手作りを心掛けています。  
 IV-1-(1) ⑦園児の食生活について保護者と連携ができています。行事日には保護者におやつを試食してもらっています。  
 IV-1-(1) ⑧専門医からの指示でアレルギー対応の食事も準備しています。  
 IV-1-(2) ①園内の衛生面、環境面には十分に配慮しています。  
 IV-1-(2) ②室内は寝食分離となっています。園内は整理整頓ができています。  
 IV-1-(3) ①②園児一人一人の生活リズムを大切に、個別の対応を心掛けています。  
 IV-1-(3) ③園児が自発的に取り組める環境づくりに努めています。  
 IV-1-(3) ④保育所周辺に園外保育に出かける機会を作り、自然、社会と関わるように努めています。  
 IV-1-(3) ⑤園児がさまざまな表現活動にバランス良く取り組めるような働きかけができています。  
 IV-1-(3) ⑥園児各自の特性に合わせて自発的にいろいろな取り組みができるように環境整備をしています。  
 IV-1-(3) ⑦子どもの人権については十分に配慮するよう努めています。子どもの権利擁護に関する研修への参加が確認できません。  
 IV-1-(3) ⑧職員が共通理解を持って、性差への先入観による固定的対応を行わないように努めています。  
 IV-1-(3) ⑨安全・清潔な環境を心掛け、丁寧な対応を行っています。  
 IV-1-(3) ⑩長時間保育に合わせた夕方の軽食等は提供していません。園児個別の生活リズムに配慮をした関わりに努めています。  
 IV-1-(3) ⑪園内はバリアフリーになっており、職員は研修を受講しています。必要な時は別室で対応できるようにしています。

IV-2 子育て支援

評価分類	評価項目	評価細目	評価結果	
			自己評価	第三者評価
IV-2 子育て支援	IV-2-(1) 入所児童の保護者の育児支援	① 一人ひとりの保護者と日常的な情報交換に加え、個別面談などを行なっている	A	A
		② 家庭の状況や保護者との情報交換の内容が必要に応じて記録されている	B	B
		③ 子どもの発達や育児などについて、懇談会などの話し合いの場に加えて、保護者と共通理解を得るための機会を設けている	A	A
		④ 虐待を受けていると疑われる子どもの早期発見に努め、得られた情報が速やかに所長まで届く体制になっている	A	A
		⑤ 虐待を受けていると疑われる子どもの保護者への対応について、児童相談所などの関係機関に照会、通告を行う体制が整っている	A	A
		⑥ 子どもの発達記録やケア記録、保育要録など保育に必要な記録が整備され、保育内容（指導計画）や小学校など専門機関との連携に活かされている。	B	B
	IV-2-(2) 一時保育	① 一時保育は、一人ひとりの子どもの心身の状態を考慮し、通常保育との関連を配慮しながら行っている	C	C

[自由記述欄]

IV-2-(1)①朝夕の保護者の送迎時での関わりの他、個別面談等も行っていきます。  
 IV-2-(1)②保護者等との情報交換については、所定の様式はなく口頭で行っています。  
 IV-2-(1)③園児の育児、発達相談については年度計画に盛り込まれて、必要に応じて行われています。  
 IV-2-(1)④～⑤発達、育児、虐待の未然防止については、保護者との面談の他に、関係機関とも連携をはかっています。  
 IV-2-(1)⑥保育日誌等に必要なのは記載しています。専門機関との連携に記録等は十分に活かされてはいますが、今後は活用していく予定です。  
 IV-2-(2)①現在、一時保育は行っていません。

IV-3 安全・事故防止

評価分類	評価項目	評価細目	評価結果	
			自己評価	第三者評価
IV-3 安全・事故防止	(1) 安全・事故防止	① 調理場、水周りなどの衛生管理は、マニュアルに基づいて適切に実施されている	A	A
		② 食中毒の発生時に対応できるマニュアルがあり、さらにその対応方法については、全職員にも周知されている	B	A
		③ 事故防止のためのチェックリスト等があり、事故防止に向けた具体的な取り組みを行っている	A	A
		④ 事故や災害の発生時に対応できるマニュアルがあり、全職員に周知されている	A	A
		⑤ 不審者の侵入時などに対応できるマニュアルがあり、全職員に周知されている	A	A

[自由記述欄]

IV-3-(1)①調理場をはじめ、園内の水周りは清潔であり、調理器具等は整理整頓しています。  
 IV-3-(1)②食中毒対応マニュアルは最新の情報を取り入れ、定期的に見直しをしています。  
 IV-3-(1)③～⑤事故防止、災害対応、不審者対応等のマニュアルを整備しており、職員に周知徹底しています。また、各種研修を受講しています。